

2-2.リストバンド機能 転倒検知

転倒検知

リストバンド着用者が転倒し検知した場合、管理者へ転倒を検知したアラート通知メールが届きます。管理者は、クラウドで対象者の位置や発生時間の確認が可能です。

転倒を検知



転倒検知の感度設定が可能です。作業内容により検知回数が多い場合、逆に足元に不安がある場合など作業状態で設定が可能です。



- ① 左上ボタンを押す
- ② 右下ボタンで「転倒検知」選択
- ③ 右上ボタンで確定



設定画面になるので右下ボタンでレベルを選択し右上ボタンで確定
左上ボタンで全面に戻ります。

<設定値について>

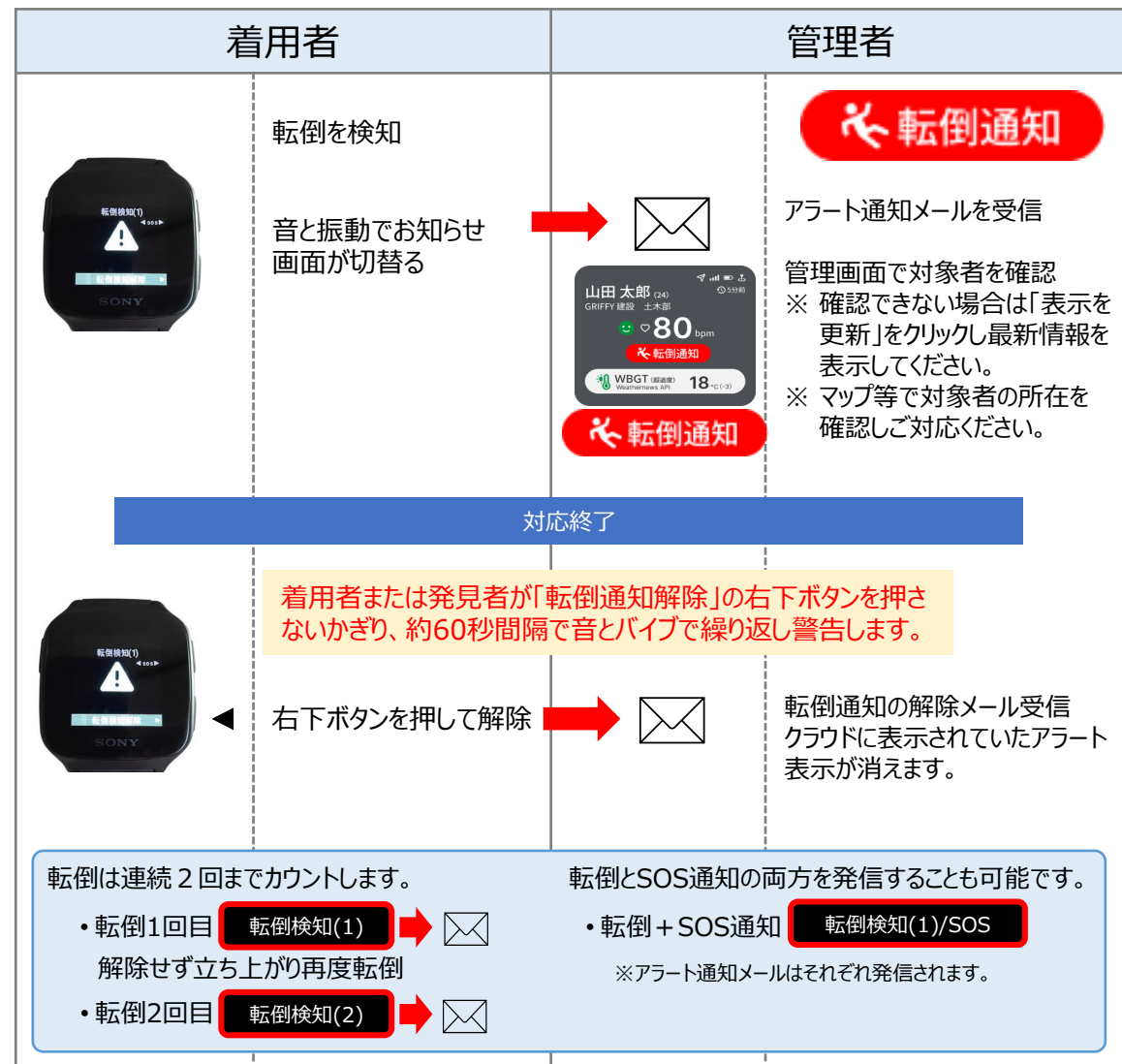
- 0 : 基準値
- 1 : 若干検知が出やすい状態
- +1 : かなり強い衝撃

基準値「0」でのご使用をお勧めします。「+1」に設定した場合、かなり出にくくなります。作業内容に応じて設定してください。

※ 転倒後にSOS通知を発信することが可能です。その場合は両方通知されます。

【転倒の判断について】

重力加速度とスコア閾値※の値から決定されます。
※スコア閾値：モーション検知を行い転倒動作であるかを見極める閾値



※ 着用者または発見者が「転倒通知解除」の右下ボタンを押さないかぎり、約60秒間隔で繰り返し音とバイブで警告します。クラウドからは、解除できません。